

RMP

フィアスプ®を使用する方へ

注射のタイミング についての注意



目次

- 「フィアスプ®の注射のタイミング」
におけるポイント・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 食事開始時の注射について・・・・・・・・ 4
- 食事開始後の注射について・・・・・・・・ 5
- 血糖値の推移と
追加インスリンの注射のタイミング・・・・・・・・ 6
- 低血糖時の対処方法・・・・・・・・・・・・ 8

「フィアスプ®の注射の タイミング」におけるポイント

- 通常は、
毎**食事開始時（食事開始前の2分以内）**に
注射します。
- 必要な場合は、
食事開始後（食事開始から20分以内）の
注射とすることもできます。

食事開始後の注射については、主治医と相談の上で、
状況*に応じて行ってください。

- *・食事開始時に注射ができない場合
- ・食事前に、食べる量がわからない場合 など。

食事開始時の注射について

<フィアスプ®を注射する時間について>

フィアスプ®は、従来の超速効型インスリンより速く効き目があらわれます。

低血糖を回避するため、注射するタイミングに注意が必要です。

食事
開始時

食事開始時(食事開始前の2分以内)に注射する必要があります。注射後、速やかに食事を始めてください。

フィアスプ®
食事開始時に
注射



食事開始前の
2分以内



食事開始



従来の超速効型インスリン製剤は、食直前(約15分以内)であり、フィアスプ®とは異なります。

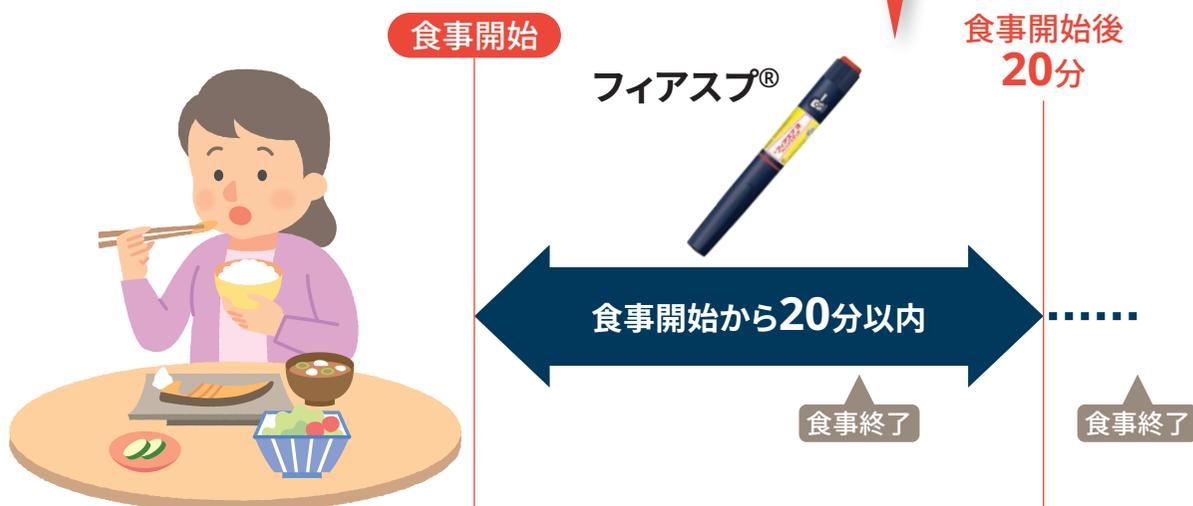
食事開始後の注射について

<フィアスプ®を注射する時間について>

食事開始後に注射することもできますが、その場合、血糖マネジメントが期待通りにいかない可能性があります。食事開始後の注射については、主治医と相談の上、状況に応じて行ってください。

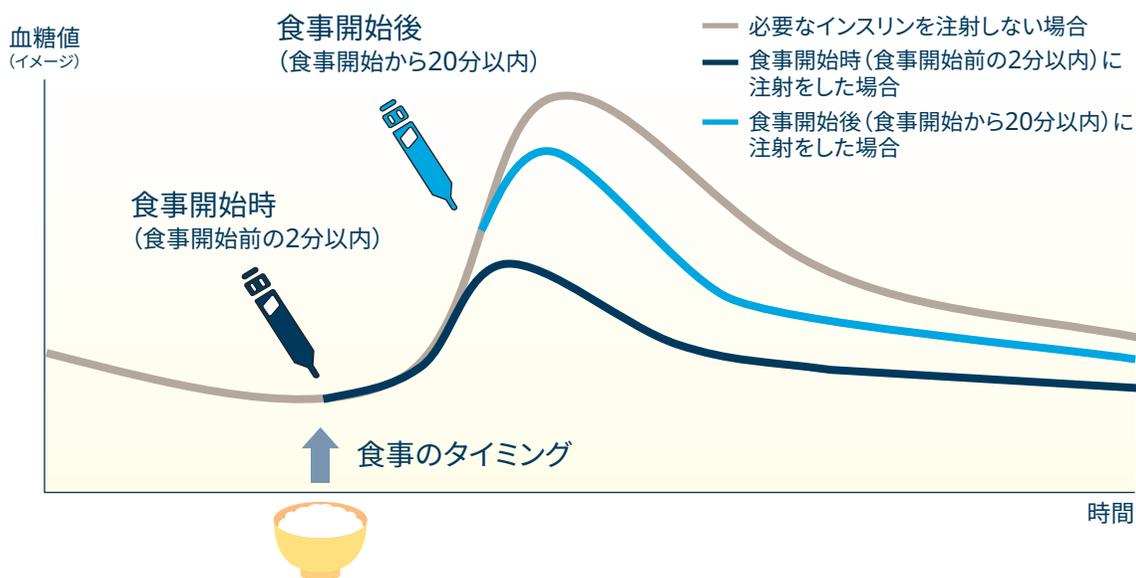
食事
開始後

食事開始から20分以内に注射します。



血糖値の推移と追加インスリンの

主治医のアドバイスの下、
適切なタイミングに注射をしてください。

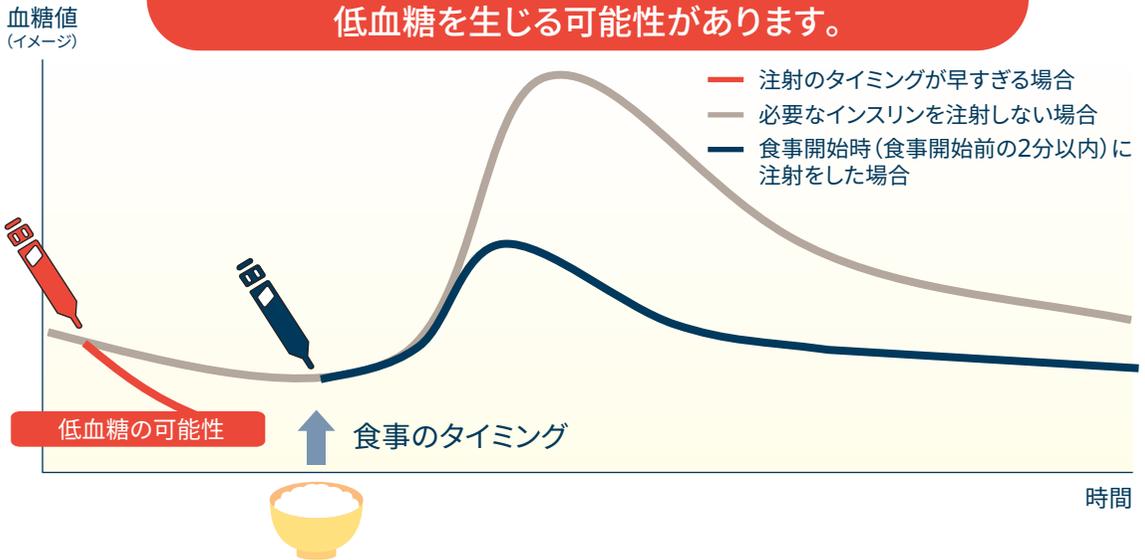


食事をすると、血糖値が上がるので、
適切なタイミングで注射をする必要
があります。

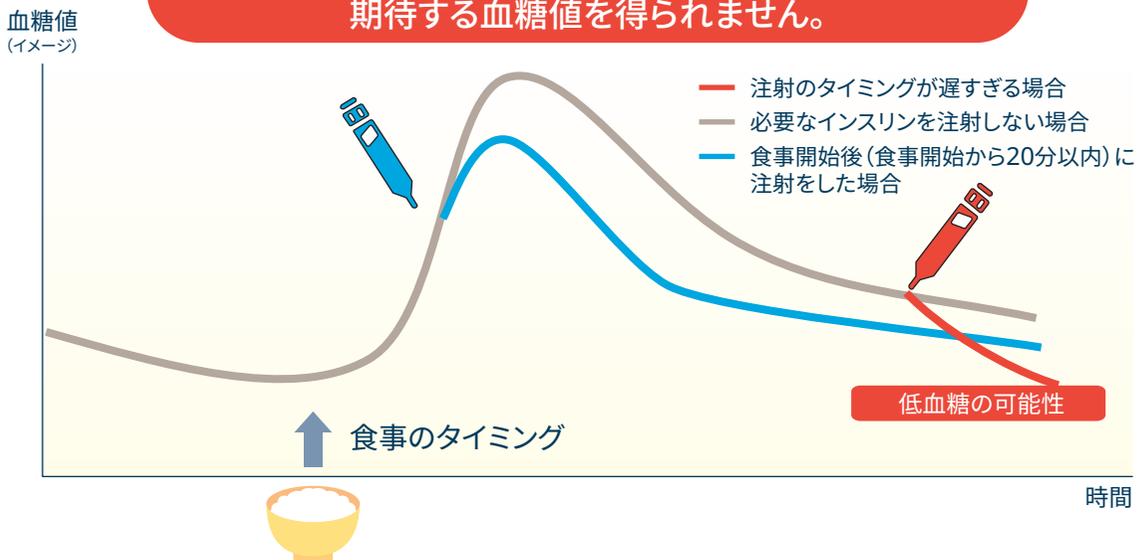
注射のタイミング

適切ではないタイミングで注射をすると、期待する血糖値が得られません。

食事開始時(食事開始前の2分以内)よりも早すぎると低血糖を生じる可能性があります。



食事開始後(食事開始から20分以内)よりも遅すぎると期待する血糖値を得られません。



低血糖時の対処方法

低血糖

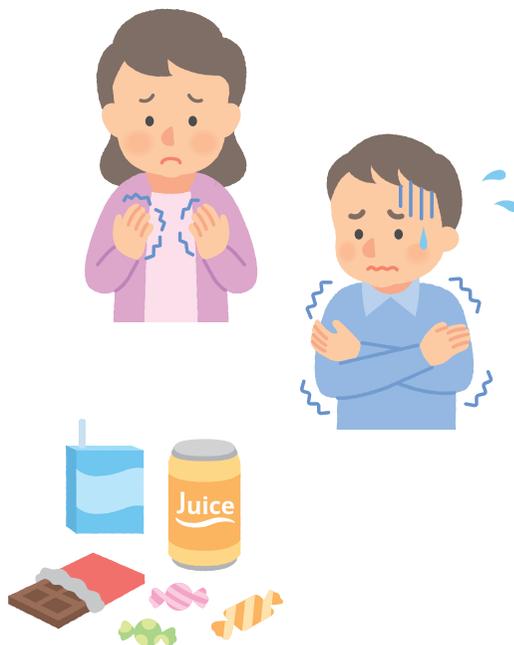
低血糖の症状があらわれることがあります。

低血糖の症状：

冷や汗が出る、血の気が引く、手足のふるえ、けいれんなど

上記のような症状を感じたらすぐに、飴やジュースなどの砂糖が含まれるもの、ブドウ糖などをとるようにしてください。

また、症状が治まったあとに、速やかに主治医に相談しましょう。



弊社製品に関するお問い合わせ (治療内容に関しましては、主治医にご相談ください)

ノボケア相談室



月曜日から金曜日※
(祝日・会社休日を除く)

☎ 0120-180363



夜間及び
土日・祝日・会社休日

(注) お問い合わせ内容によっては、翌営業日に
回答させていただく場合がございます。

☎ 0120-359516

※ 受付時間は午前9時～午後5時です。